

## 地歴公民科（世界史A）学習指導案

学 校 名 鹿児島県立古仁屋高等学校  
指導年月日 平成 29 年 6 月 1 5 日（木）  
指 導 学 級 1 年 1 ・ 2 組 3 8 人  
使用教科書 高等学校改訂版世界史A（第一学習社）  
指 導 者 教 諭 米 倉 秀 和

### 1 単元名

第1章 ユーラシアの諸文明 第5節 ヨーロッパ

### 2 単元の目標

ヨーロッパの風土と諸民族，ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教に触れ，ヨーロッパ世界の特徴を把握させる。

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
・ヨーロッパの風土と諸民族，ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教に対する関心を高め，地域差がありながらも一つの文明を形成したヨーロッパ世界の特徴について意欲的に追究しようとしている。	・地域差がありながらも一つの文明を形成したヨーロッパ世界の特徴について考察し，ヨーロッパの風土と諸民族，ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教の歴史的意義を判断している。	ヨーロッパの風土と諸民族，ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教に関する資料を活用するとともに，地域差がありながらも一つの文明を形成したヨーロッパ世界の特徴について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	・ギリシア・ローマ文明がヨーロッパ世界の形成に与えた影響について把握し，基本的知識を身に付けている。 ・ゲルマン人の移動とイスラームの地中海進出がヨーロッパ世界の形成に与えた影響について把握し，基本的知識を身に付けている。 ・キリスト教がヨーロッパ世界の形成に与えた影響について把握し，基本的知識を身に付けている。 ・東ヨーロッパと西ヨーロッパの形成について把握し，基本的知識を身に付けている。

#### 4 単元の指導計画

##### 1 古代ギリシアとローマ

- ① ギリシアのポリス（本時）
- ② ヘレニズム
- ③ ローマ帝国

##### 2 東西ヨーロッパ世界の形成

- ① 西ヨーロッパ世界の形成
- ② 祈る人・戦う人・働く人
- ③ 東ヨーロッパの形成

##### 3 西ヨーロッパの膨張と危機

- ① 十字軍と商業の発達
- ② 都市の興隆
- ③ 百年戦争と王権の伸張

##### 5 教材観

世界史Aは、16世紀以降の近現代史を中心とする科目であるため、本単元は、近現代史を理解するための前提として位置づけられている。そのため、指導に当たっては、近現代史へ関連づけられることが望ましい。また、自然環境、生活、宗教などに着目させながら概観させるよう注意したい。

##### 6 生徒観

積極的な生徒とそうでない生徒との間に隔たりが見られる。しかし積極的な生徒は、見方によっては場当たりの発言ばかりするとも言えるので、メリハリをつけるように指導する。一方で消極的な生徒は、まじめに聞いて、まじめにノートをとっているとも言えるので、グループワーク等で発言をできるように指導する必要がある。また、お互いの生徒が刺激しあい、より主体的となるために補完し合うような授業を展開していきたい。

##### 7 指導観

本時で取り上げる古代ギリシアは、近現代の政治制度の原点といえる民主政を最初に生み出したものである。現代の民主政のあり方と古代ギリシアの重装歩兵戦術との関連を考えさせながら、古代ギリシアにおける民主政完成の推移を学習させ、その意義を理解させたい。

##### 8 本時の実際（第5節 ヨーロッパ 2時間／10時間）

###### （1）本時の目標

- ・ 古代ギリシアで民主政が発展したのはなぜなのか理解する。（思考・判断）
- ・ 古代ギリシアにおける民主政発展の推移を理解する。（知識・理解）
- ・ 古代ギリシアの重装歩兵から、民主政の意義について考えよう。（資料活用の技能・表現）（思考・判断）

(2) 指導の実際

課程	時間	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ別に分かれる。(授業前)</li> <li>・前回の復習をし、奴隷制の背景として「戦争が日常化していたこと」「貨幣経済が発展していたこと」の確認。</li> <li>・本時の問い「ギリシア民主政が発展したのはなぜか」の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークプリントを配付。</li> <li>・前回の復習をワークプリントに書き込む。</li> <li>・本時の問いを確認しながら板書する。</li> <li>・民主政が実現するには、平民の参政権が高まる必要がある。ということを理解する。</li> </ul>
展開 (1)	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークプリント資料①を参照して、重装歩兵戦術において最も重要なことは何かを考える。</li> <li>・各グループで意見を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を集約する。</li> <li>・重装歩兵集団の移動においては、スピードよりも、最も動きの遅い者の動きに合わせて全体の集団姿勢を維持することが重要であるという結論にたどり着くことが最も望ましい。(資料活用の技能・表現)(思考・判断)</li> </ul>
展開 (2)	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料②アテネ民主政完成への推移を、教師の補足説明を聞きながら空欄補充をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アテネ民主政完成への推移を、空欄補充や教師の説明を聞くことで、「弱者へのケア」「機会の平等」などが軸となっていることを理解させる。(知識・理解)</li> </ul>
展開 (3)	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで、重装歩兵戦術とアテネ民主政完成への推移において、共通しているものとは何かを話し合い、代表が板書を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論点をつかめないグループが出ることが予想されるため、教師は適宜机間巡視をし、ヒントを提供する。</li> </ul>
まとめ	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いに対する答え</li> <li>「重装歩兵として国防に貢献した平民が参政権を高めたため」</li> <li>「弱者に合わせることで全体の利益につながるという民主政の本質を平民が理解していた」</li> <li>などを、教師の補足説明を聞きながらノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が準備した答え以外のものに対して、明らかな誤答を除き、尊重するよう心掛ける。</li> <li>・</li> </ul>

9 研究授業（パワーアップ研修 第1回／全3回）を終えて

- ・ I C T機器の使用に至らなかった。
- ・ 生徒の授業態度に差が見られる。
- ・ 板書のノートはしっかりと行っている。
- ・ ソーシャルスキルトレーニングのような内容も採り入れたい。
- ・ 言語活動の一環として英語を用いた内容も採り入れたい。
- ・ グループワークで活発な言語活動をしている者は一部にとどまった。
- ・